

	活動の基本目標(指針)	主な取組名	成果と課題
生活援助機能	<p>安全・衛生の確保</p> <p>健康の管理・情緒の安定</p> <p>基本的生活習慣の確立</p> <p>社会生活技術の獲得</p>	<p>○基本的取組(挨拶・整理整頓)</p> <p>○職員による安全指導</p> <p>○アレルギー対策</p> <p>○感染症予防指導・風邪予防指導 (コロナ感染予防・インフルエンザ感染予防)</p> <p>○宿題・勉強の習慣</p> <p>○おやつ提供</p>	<p>○日頃より、挨拶の習慣をつけるだけでなく、「なぜ挨拶をするのか」などの話をして子どもたちに挨拶の大切さを指導。地域の方や、一般来館で来られた方にも自ら挨拶できるようになった。片付けはみんなで協力して、使用していないおもちゃも片付けてくれた。次年度も指導していく。</p> <p>○集団下館時の様子などを職員間で共有し、次の日の帰りの会で指導。また、集団下館の引率時にもその場で指導。次年度も続けていく。</p> <p>○児童台帳により、児童のアレルギーについて記入してもらい児童館で把握し、おやつ等を配慮する。今年度、食物アレルギーの児童がいる為、対象食品除去。職員間にてアナフィラキシーショック等の研修実施。</p> <p>○帰館時・外遊びから帰ってきたとき・おやつ時・感染症予防のに配慮(コロナウイルス・インフルエンザ等)特に手指消毒・検温・手洗い・うがいの習慣を徹底した。(加湿・空気清浄・マスクの配布・手の消毒を実施)トイレでの手拭・手洗後はペーパータオルを使用。登館時、体温チェックを励行。併せて職員も感染防止グッズ(ゴーグル、マスク、ビニール手袋)を常時活用とした。</p> <p>○帰館時・長期休暇時の宿題・自主学習の時間には、静かに過ごす時間を位置づけて、学習ができる環境を配慮する。</p> <p>○夕飯までの補食・楽しく食べるにより情緒の安定を図る。</p>
子ども育成機能	<p>生活体験の拡大</p> <p>自主性・社会性の養成</p> <p>自立の促進と自主性の尊重</p>	<p>○お誕生日会</p> <p>○作ってみよう会</p> <p>○ハロウィン工作</p> <p>○クリスマスカード作り</p> <p>○カレンダー作り</p>	<p>○生まれ育った経緯を振り返り、自分一人で育ってきたのではなく、家族はじめ周囲や友だちの支えで成長してきたことを認識し、そこから感謝や家族の温かみを感じることができていることを確認する良い機会となった。</p> <p>○友だちとともに作成する過程で励ましや競争が期待でき、互いに評価することで発表する力をつけ、その上で遊びを通じて成長が期待できる良い機会となった。</p> <p>○ハロウィンやクリスマス等、季節の行事に取り組むことにより季節感を体感し、長期的な計画を立てることで行事の展望や児童自身の役割分担を自覚することができた。</p> <p>○催しを子ども自身が企画することで、行事に対する意欲が期待でき、パフォーマンスを練習することで表現力を豊かし、充実した会に取り組むことができた。</p> <p>○工作を通じて家族・友達への感謝の気持ちを表現したカードを作ったり、自主的に新しい年の見通しや楽しい計画の構想を練る良い機会となった。</p>
子育て支援機能	<p>子育てに必要な情報の提供と交換</p> <p>子育ての仲間づくり</p> <p>子育てを支えるネットワーク形成</p>	<p>○学童クラブたより作成・配布</p> <p>○利用料引落し案内・減免申請 配布</p> <p>○連絡帳の活用について</p> <p>○WEBでの情報発信について</p>	<p>○たよりを配布することにより、季節の行事、児童館事業の取組みを周知し、気軽に子育ての情報や連絡を知り子育てに活かす環境を整備することができた。乳幼児親子の孤立感を防ぎ、配慮を必要とする親子に対してはぐくみ室や保育所等と連携することが期待でき実際にはぐくみ室や児童相談所と協議連携することができた。</p> <p>○利用料の減免やその仕組みを利用者に明示することで、保護者の負担軽減を図ることができ、児童館事業を一層気軽に社会資源として活用できるが期待できる。</p> <p>○連絡帳を活用することにより、児童館から保護者へ、保護者から児童館へ風通しの意見の相互交換が期待でき、連携や関係性が担保できる。</p> <p>○HPをはじめとするWEBでの記録や情報発信については、若い世代のお母さんらに受入れも早く、効果的である。今後、簡易版HP(ブログ)等上手く活用し、一層情報発信に力を入れ社会資源としての役割を果たしたい。</p>

令和（3）年度

学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

京都市音羽児童館

京都市音羽児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人				
基本的取組（安全指導・整理整頓）	毎日															日頃より、挨拶の習慣をつけ、自ら挨拶できるようにする また、片付けの習慣をつけるよう目指した。
安全指導 帰宅指導	毎日															帰りの会で、下館時の帰り方の指導を行い、下館に付き添い 安全な帰り方や場所など、その場で指導。
リーダー育成指導	毎日															班を決めて日替わりで用意を手伝ってもらう。
衛生指導	毎日															コロナ感染拡大防止啓発指導を随時実施した。 手洗いの仕方のイラストをトイレ・洗面所に貼り 手指消毒・手洗いを指導した。
読書習慣の確立	毎日															図書整備及び図書活用事業について着し環境整備に努めた マンガシリーズの充実・本棚の整備
学童クラブだより発行	12															その月にある学童クラブ行事や、お知らせなどを お便りにして保護者の方にお知らせした。
小学校施設行事参加	0															コロナウイルス感染拡大のため中止 子ども達の学校での様子を知るとともに 小学校との連携を図る。
お誕生会	12	228	183	142	72	26	1							652	その月に誕生日があるお友達をみんなでお祝いする。	
夏休みの遠足は、熱中症対策のため中止し、 代わってスイカ割大会を実施した。	1	16	11	5	4	5	1	5	2				4	53	ビーチボールを床に固定し、疑似スイカ割を楽しみその後ス イカを参加者で食べた。	

*注 行事名は、（1）生活援助機能 （2）子ども育成機能 （3）子育て支援機能に分類して記入すること